おかしん

2023
11
VOL.832

劇団うりんこ 創立50周年記念公演

かがやきびと

劇団うりんこ代表　児玉　俊介さん

「家康公検定2023」を実施／家康公検定　過去問に挑戦

Okashin News　天元戦関連イベントを開催

創立50周年記念公演第2弾「フングリコングリ」。劇団員が総出演した。

劇団うりんこ 代表 児玉 俊介 さん

「かがやきびと」では、文化や芸術、スポーツなどの分野で活躍する地域の方を紹介します。

今月のかがやきびとは、「劇団うりんこ」代表　児玉俊介さん。名古屋市名東区で子ども向けの演劇活動を続け、今年創立50周年を迎えた「劇団うりんこ」。活動に懸ける思いなどをお伺いしました。

劇団うりんこ代表
児玉　俊介さん

―劇団うりんこについて教えてください。

1973年、8人の若者によって、東海地方ではじめての子ども向けプロ劇団として発足しました。「うりんこ」とはイノシシの子どものこと。猪のように子どもたちのところへ真っ直ぐ走りたいとの願いが込められています。

それから50年間、愛知、岐阜、三重の幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校の教育現場をメインに活動を続けています。今では文化庁からの委託事業で全国の子どもたちのもとへ巡回公演もしています。

年間のステージ数は500超。昨年度の年間観客数は約13万人でした。新型コロナ感染拡大前は約15万人でしたから、8割ほどまで回復しています。

―作品を作り上げるパワー

うりんこには座付きの劇作家と演出家がいません。団員が一緒にやりたいと思う劇作家さん、演出家さんを全国から見つけてきます。現在、35名の団員がいて、全員で一つの作品をつくり上げていますが、そのパワーは他にはないものがあります。

企画が立ち上がる前段階から全員で話し合い、合意が得られると始動します。このスタイルは、発足当初から引き継がれています。公演活動は複数のチームに分かれて行うのですが、舞台

に立つチーム以外のチームも、衣装・大道具作りなどの裏方や営業を担います。

膝を突き合わせてとことん話し合い一人一人が納得したうえで進めていきますので、トラブルが起きた時に、みんなで何とか乗り越えようとする力を保ち続けることができるのではないかと感じています。コロナ禍においても、それを感じました。

実は、役員も選挙で選ばれています。私は代表ですが、経営、運営、技術などはメンバーの力に委ねていて、彼らが自由に活動する様子を温かく見守ることが役割だと思っています。

―理念は「すべての子どもたちに演劇を」

子どもたちには、演劇鑑賞を通して、人と人とが深く関わること、人に何かを伝えて受け取ってもらうことの喜びや楽しさを味わってほしいと思っています。子どものうちにその経験をしていれば、大人になって多少つまずいても、もう一度チャレンジしようという気になるのではないでしょうか。

そして、その経験をすべての子どもたちに平等に享受してほしいので、学校公演にこだわっています。ご家庭によっていろいろな経済状況がありますし、ご家庭ごとのお考えがあります。地域によっては、山間部や離島などお芝居を見に行くことが厳しい場所があります。しかし、学校であれば、どんな環境に置かれている子でも演劇に触れる機会が得られます。

―子どもたちに届けたいこと

うりんこの作品は、現代を生きている子どもたちに何を届けたいのか、ということを出発点につくられます。今の子どもたちがどんな状況に置かれて、どんなことに困っていて、どんなふうになりたいと思っているのかということを、メンバーみんなで調査したり意見を出し合ったりするところから始まります。ただし、私たちは啓蒙的なメッセージを提示したいわけではなく、子どもたちが劇を見ながらいろいろ考えたり、感じ取ったりしていただければ幸いだと思っています。

ありがたいことに、かつての観客だった子どもたちが大人になって、お子さんやお孫さんを連れて見に来てくださることがあります。次の世代にも伝えたいと思っていただける作品をつくり続けているといえるのではないかと感じています。

―これからも子どもたちのもとへ

うりんこは、たくさんの方に支えられてきました。50周年を無事に迎えられたのは、みなさんのご協力の賜物です。これからも、みなさまと共に、全国各地の子どもたちの心に響く作品をつくり、お届けしていきます。

新しい事業

01 劇団うりんこ付属 演劇研究所

週3回のレッスンと年2本の作品創作を通じ、実践的に演劇を学ぶことができる。1979年開所。40年以上の歴史を持ち、これまで300人以上の卒業生を輩出。

02 劇団うりんこ流 コミュニケーション教育研修

劇団うりんこが長年培った「演劇教育」のノウハウを、一般企業向けに応用したコミュニケーション能力育成プログラム。社員ひとりひとりが輝ける職場づくりをサポート。

めばえ

劇を」の思いの
ども支援事業。
済的な理由など
かったりする子

バックステージツアー

50周年記念公演後に行われたサポーターズ※会員限定バックステージツアー。
子どもたちは舞台のあちこちにある扉に興味津々、開けたり、覗いたり、入ってみたり。
※うりんこの活動を応援し支える会。年会費6,000円。公演をお得に鑑賞できるなど様々な特典がある。

History of Urinko theatre company

1973
8人で「劇団うりんこ」発足

1986年オープンの「うりんこ劇場」
劇団の稽古・お披露目の場のみならず、地域の人々が集う場所となっており、乳幼児サークル、英会話・ダンス・朗読教室などが行われる。7月開催のうりんこ夏祭りでは、近所の子ども達約300人であふれかえった。

1974年初回公演
「まわせ・まわれ・ピストン・クランク」に出演した創立メンバー。

資金作りの活動がみのり、うりんこ最初の活動場所である、100㎡のプレハブ稽古場を建設。

冬休みこども劇場

会場／うりんこ劇場

12月の公演

大切なあなたへ　～I need you! ～

原案／チームおめで隊（劇団うりんこ）
構成・演出／岡本伸子（ワークショップ専門企画みんなの木）

公演日時　12月22日㈮～28日㈭

この舞台に出てくる4人は言葉を使いません。
人形劇、ダンス、楽器、パントマイムなどで、誰かと一緒にいる事の嬉しさや安心感、相手と自分を大切に思う気持ちを伝えます。
ピアノの生演奏の中お贈りする、ドキドキ、ハラハラ、ウキウキ、ほっこり、色んな気持ちを想像できる「小さな心のエピソード」が集まったオムニバス形式の劇です。

1月の公演

かえるのそらとぶけんきゅうじょ

原作・絵：村上　勉「かえるのそらとぶけんきゅうじょ」（偕成社）
脚本：つげくわえ　　演出：北村直樹

公演日時　1月6日㈯・7日㈰

ドングリの木に、カエルとアマガエルとトカゲが暮らしていました。
ある日、見たことのない毛むくじゃらがドングリの葉をバリバリと食べていました。このままでは葉がなくなってしまう!
カエルは毛むくじゃらを見張ることに。ところがある日、毛むくじゃらは、美しいチョウになって飛び立っていきました。飛びたい･･･ぼくも空を飛びたい･･･
その日からカエルの空飛ぶ研究が始まり･･･!?

03 子ども支援会員

「すべての子どもたちに演
もと、2021年に立ち上げた子
支援が必要であったり、経
で劇場に行くことが難し
どもたちを無料招待する。

Information

劇団うりんこ
うりんこ劇場

最新の情報は
ホームページで。

〒465-0018
名古屋市名東区八前一丁目112番地
TEL：052-772-1882

電車・バスでご来場の場合

・地下鉄東山線「一社駅」下車。バスターミナル3番のりば市バス「幹一社１」系統、6つ目「宮根」バス停下車。前方信号「京命」右折100メートル
・名東巡回バス「猪子石荘」バス停より50メートル

お車でご来場の場合

・東名高速道路「名古屋IC」より11分
・名古屋第二環状「上社南IC」より9分、または「大森IC」より10分
※お車でお越しの際は劇場の駐車場、またはコインパーキングをご利用ください。※近隣の店舗等への違法駐車はご遠慮ください。

2023

劇団50周年

2017年『わたしとわたし、ぼくとぼく』は、LGBTQを題材として扱った作品。
名古屋市民芸術祭2021　名古屋市民芸術祭特別賞　演劇部門奨励賞を受賞。
※写真中央は児玉代表

「家康公検定2023」を実施

2023年９月30日、公益財団法人徳川記念財団と一般社団法人徳川家康公に学ぶ会（事務局：岡崎信用金庫地域振興部）では、通算第12回目となる「家康公検定」を実施しました。

NHK大河ドラマ「どうする家康」の放映が本年１月から開始され、関心が全国的に高まるなか、初の５地域連携で広域実施しました。今回は、家康公ゆかりの岡崎・静岡・浜松に加え、家臣団筆頭の酒井忠次ゆかりの鶴岡（山形県）ならびに家康公の孫 保科正之ゆかりの会津若松（福島県）とも連携しました。

名古屋会場を含めた6市8会場にて合同開催し、東は北海道から西は山口県まで、全国26都道府県から老若男女（6歳～97歳）1,562名が挑戦。「家康公と家臣団」をテーマに全100問（四者一択）が出題され、4名が満点合格を果たしました。

試験結果は次のとおり。合格者には合格証が交付され、優秀合格者には徳川記念財団の徳川家広理事長より表彰状が授与されます。

- ●合格率：75.9%（前回81.5%、前々回75.2%）
- ●平均点：77.8点（前回80.4点、前々回77.9点）
- ●最高点：100点（４名）
- ●小中学生最高点：96点（前回96点）
- ●最年少合格：小学１年生（記録更新。過去は小２）
- ●最年長合格：91歳（前回92歳）

試験会場の様子（岡崎信用金庫本店2階大ホール）

家康公検定 過去問に挑戦！27

今回、９月30日に実施された「家康公検定2023」のテーマは『家康公と家臣団』でした。この“家康公と家臣団の関係”を象徴する問題として、全100問のなかで最後に出題されたこの問題に今月はチャレンジです。正解率は非常に高く、96.7%でしたが、さて、あなたは？

問 題

関白（かんぱく）の豊臣秀吉から「徳川殿の宝（たから）はなにか？」と尋（たず）ねられた家康公。何が宝だと答えたでしょうか？

(1) 私のすべてのことを気遣（きづか）ってくれる家族
(2) 私のためには命を惜（お）しまない家臣たち
(3) 天下を治めることのできる源氏の家柄（いえがら）
(4) 戦（いくさ）のない世をつくる指針（ししん）となる古今（ここん）の蔵書（ぞうしょ）

解 説

上記選択肢の(1)～(4)はすべて家康公の大事な宝と言えますが、大坂城で関白 秀吉から問われ、毛利、宇喜多などの諸大名の前で、家康公が「我が第一の宝」と答えたのは、“私のためには命を惜しまない家臣たち”でした。豊臣政権下で50代を迎え、秀吉を補佐して政権を支える家康公には、“人こそ宝”という概念が確立されていたのでしょう。明日をも知れぬ戦国乱世のなかに生まれ、母と離別、父と死別し、人質生活、妻子との別れ、敗北と臣従など艱難辛苦（かんなんしんく）の人生において、親身となった諫言忠言（かんげんちゅうげん）をくれ、自分の盾（たて）となってくれる譜代の家臣たちは、家康公にとってまさに宝だったのです。

家康公像（岡崎公園）

正解……(2)

天元戦関連イベントを開催

2023年10月10日㈫に岡崎市の龍城神社で「第49期天元戦」が開幕したことに合わせ、当金庫資料館で天元戦関連イベントを開催しました。天元戦は囲碁の七大タイトル戦の一つ。

9日に行われたプロ棋士による指導碁では、子どもから大人まで22名の方が4人の棋士から手ほどきを受けました。続いて開かれた講演会では、囲碁殿堂資料館（東京）の齊藤譲一学芸員が「徳川家康と囲碁」をテーマに登壇され、約30人の聴講者を前に、囲碁の発展に大きく貢献した家康公の功績や逸話を紹介しました。

また、3日～29日、囲碁のルールや歴代天元19人を紹介する写真パネルや、10日に対局した関天元と一力棋聖の直筆サインなどを展示し、魅力を紹介しました。

プロ棋士による指導碁の様子

関　航太郎天元(左)と一力　遼棋聖(右)

齊藤譲一氏による講演会

おかしん 教育カードローン

ポイント

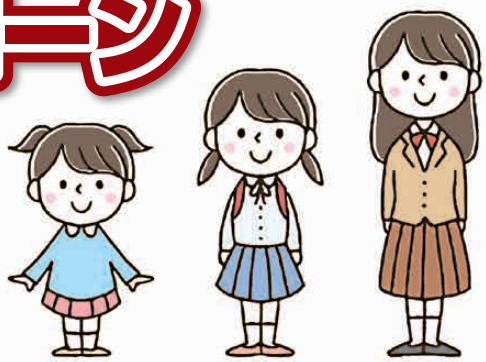
❶「備える」のに最適な商品性！
お借り入れがない期間は利息の支払いはございません。

❷借入・返済のタイミングは自由！
ATM にて借入・返済手続ができます。

❸お申込み手続きがとっても簡単！
WEB 完結対応なので、お申込みからご契約まで来店不要で手続き完了。

❹在学期間中は利息返済のみ！
在学期間中は利息のみのご返済、卒業後から元金を含めてご返済いただきます。

❺奨学金との併用が可能！



おかしん教育カードローンの商品概要など、詳しくはこちらをご覧ください。

毎月一回発行
発行所　岡崎市菅生町字元菅四一

新築建替オープン！
岡崎信用金庫 幡豆支店

2023年 12/4（月）

このたび、岡崎信用金庫幡豆支店は、新築建替いたします。

今後もより一層地域の皆さまに愛され信頼される金融機関を目指してまいりますので、引き続きご愛顧くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

岡崎信用金庫
幡豆支店

〒444-0703
西尾市西幡豆町仲田5番地
TEL：0563-62-3131
※住所・電話番号は変わりません

発行／岡崎信用金庫　編集／地域振興部
電話〈〇五六四〉二五―七二一三(https://www.okashin.co.jp)